



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2009年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

自民総裁に谷垣氏

河野、西村氏を破る



自民党の新総裁に選出され、拍手を受ける谷垣禎一氏—28日午後2時39分、東京・永田町の党本部

自民党は28日午後、麻生太郎前首相(69)の後継を決める総裁選の投票票を実施、谷垣禎一元財務相(64)が河野太郎元財務

副大臣(46)、西村康稔前外務政務官(46)の2候補を破り、第24代総裁に選出された。谷垣氏300票、河野氏144票、西

村氏54票だった。野党としての自民党総裁の選出は、河野洋平前衆院議長が当選した1993年以来、16年ぶり2度目。任期は2012年9月末まで。

谷垣新総裁は直ちに幹事長や国対委員長などの人選に着手。早急に新執行部を発足させ、政策の見直しや組織改革に取り組む意向だ。10月25日投票の参院神奈川、静岡両補選への対応が最初の関門となる。

秋以降の国会論戦では民主党への対決姿勢を鮮明にし、政権公約に関する財源や鳩山由紀夫首相

(62)の献金問題を追及。来夏の参院選で勝利し、参院での与党過半数割れを実現したい考えだ。

今回の総裁選は、8月の衆院選惨敗を受けた党の再建策が最大の争点となった。谷垣氏は「全員野球」を呼び掛け、安定感をアピール。各派閥の領袖クラスから若手まで幅広い支持を集めた。

河野氏は派閥領袖に引退を求めるなど世代交代を強く主張し、幹部が反発。党内の混乱への不安などから地方票も伸びなかった。西村氏は地方重視の姿勢を強調したが、知名度不足が響いた。